

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 13 年度第 11 回)

日 時 昭和 14 年 2 月 8 日(水)午後 5 時開會同 9 時閉會

出席者

理 事 齋藤大吉 渡邊三郎 吉川晴十 松下長久
 山縣代理齋 藤 三三
 監 事 西村小次郎
 前會長 俵 國一 河村 驥
 常務委員 田中清治 三島徳七

協議事項

1. 機械學會鐵鋼協會(鋼材部會)聯合自動車用鐵鋼材研究會に關する件

昭和 14 年 1 月 26 日(木)午後 5 時より打合の會あり會合者 吉川晴十、三島徳七、山田良之助、鳥根機械學會主事、風間鐵鋼協會主事

2. 第四回工學大會委員推舉の件

被推薦者 齋藤彌平 志村繁隆

3. 日本工學會發行「工學と工業」並に「工學年報」編纂委員會委員推薦の件、被推薦者 石田四郎

4. 關西支部設置に關する件

5. 「鐵鋼關係法規參考資料」追加印刷の件 可決

6. 臨時講演會開催の件

日 時 昭和 14 年 2 月 28 日(火)午後 6 時 30 分開會

場 所 帝國鐵道協會々館

講演標題並講演者

(1) 鐵鋼の生産配合に就て

日本鋼材聯合會專務委員 法學士 小川彌太郎君
 商工省物資調整局專門委員

(2) 歐米視察談

特に熔鑛爐酸性操業に就て

明治專門學校教授 工學博士 嘉村平八君

7. 昭和 14 年度收支豫算編成の件

8. 入退會者及び會員異動

會員異動總計表 (自昭和14年1月12日至昭和14年2月8日)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者數	—	2	—	22	43	67
退會者數	—	—	—	—	2	2
死亡者數	—	—	—	5	—	5
轉格者數	—	—	—	+ 19	- 19	0
現在會員數	14	50	20	1,236	1,668	2,988
前月と比較	—	+ 2	—	+ 36	+ 22	60

退會者氏名 准會員 西村次彦 木村富藏

報告事項

1. 昭和 14 年 1 月分收支報告
2. 第 21 回大會開催に關する件

3. 日本工學會評議員會の件

4. 日本鐵鋼協會野田文庫購入圖書(別項)

以上

編輯委員會 (昭和 13 年第 10 回)

日 時 昭和 14 年 1 月 25 日(水)午後 5 時開會同 7 時閉會

出席者

吉川理事 委員 石原善雄 石田四郎
 五百旗頭啓 銅金義一 田中清治 網谷俊平
 齋藤彌平 三島徳七 廣瀬政次

協議事項

1. 鐵と鋼第 25 年第 2~3 號上掲論文原稿選定の件

第 2 號上掲決定原稿

18/8 不銹鋼の各種性質に及ぼすコロニウムの影響

大倉幸雄

金屬の磨耗の研究の趨勢

齋藤省三

車軸材に現れたる疵に就ての考察

金森九郎

X線に依るアルミニウム合金の均質化と擴散に

關する研究

篠田軍治

タングステン耐酸化性に及ぼすクロムの影響

石田四郎

麻田宏・東村三郎

第 3 號上掲決定原稿

歐米に於ける平爐製鋼法の管見

絹川武良司

深絞用美裝鋼板の研究

森寺一雄

鋼の窒化に關する二三の問題

錦織清治・林美孝

熔鐵中の FeO の水素による還元平衡

田尻惟一・柴田善一

鋼中の微量ガスの精密分析裝置

田尻惟一・柴田善一

熔融せる鐵鋼中に含有されるガスの測定方法

小林佐三郎

電子線回折法に依る硫黃の結晶構造の研究

三島徳七・桶谷繁雄

2. 鐵と鋼第 25 年第 2 號上掲抄録原稿決定

3. 俵賞受領者審査

4. 鐵鋼要覽編纂に關する件

報告事項

1. 研究部會に關する委員長の照會往復書類の件

2. 大會準備に關する件

3. 鐵鋼要覽編纂經過狀況

講演會

日 時 昭和 14 年 1 月 24 日(火)午後 6 時 30 分開會

會 場 帝國鐵道協會々館三階講堂

講演標題並講演者

1. 珪石煉瓦に就て 本會評議員 工學士 黒田泰造君

2. 本邦製鐵事業と大冶鐵山

商工省鑛山局長 法學士 小金義照君

聽講者總數 128 名にして午後 9 時盛會裡に散會せり

新入會者氏名 (自昭和14年1月12日至昭和14年2月8日)

居 所 又 は 宛 名 先	勤 務 先 又 は 職 業	會 員 別	入 會 者 氏 名	紹 介 者
足立區沼田川端二三一〇		維持員	東邦鋼業株式會社	
滿洲國奉天省本溪湖街		"	本溪湖特殊鋼株式會社	
大阪市港區東田中町五ノ九五	汽車製造會社大阪支店	正會員	池 村 富 三 郎君	風 村 〃〃〃〃
大阪府三島郡千里村片山二九五 (吹田五七九)	男爵工學士	"	奥 村 内 膳君	間 松 〃〃〃〃
兵庫縣武庫郡精道村芦屋八六一 (芦屋四三六七)	汽車製造會社大阪支店	"	中 田 潔君	篤 橋 次 太 郎
豐中市新免一〇七六ノ一(豐中二八五七)	工學士	"	鳥 崎 浩 藏君	〃〃〃〃
滿洲國哈爾濱南崗區公司街哈爾賓 工業大學	汽車製造會社大阪支店	"	佐 藤 恒 義君	藤 垣 齊 荒 和 村 風 村 稻 上 風 村 清 安 風 村 〃〃
中野區大和町一九〇	工學士 教授	"	芝 崎 邦 夫君	田 内 藤 川 〃〃〃〃
日本橋區通一ノ一野村ビル五階 (日本橋三六〇三)	日本製鐵會社監理部	"	ヌベル, カレドニ- 鑛業株式會社	井 松 間 松 津 野 間 松 水 田 間 松
西宮市今津眞砂町一二 (西宮四四三九, 四四九九)		"	阪神電氣製鋼株式會社	松 風 山 村 志 風 風 村 金 村 廣 村 河 風 山 村 濱 村 山 村
兵庫縣加古郡高砂町日本砂鐵工業會社高砂工場		"	吉 田 正 巳君	下 間 田 松 村 間 松 澤 松 瀨 松 村 間 田 松 田 松 本
富山市下新五〇日曹富山製鋼所	工學士	"	原 田 種 樹君	〃〃〃〃
蒲田區下丸子町三一 富士航空計器株式會社	工學士	"	柴 田 省 策君	〃〃〃〃
奉天市大和區新高町三(3)2736	砲兵少佐 株式會社奉天造兵所製造所長	"	加 瀬 泰 一君	〃〃〃〃
豐中市上野區五一八ノ一 (豐中三三二八)	汽車製造會社大阪支店製罐工場長 日本鋼管株式會社經理部	"	増 谷 周 太 郎君	〃〃〃〃
澁谷區宇田川町四六(澁谷三〇三六)		"	中 村 三 男 吉君	〃〃〃〃
京都府相樂郡上狛町二耐久ツール製作所	專務取締役	"	松 原 正 夫君	〃〃〃〃
兵庫縣武庫郡鳴尾村上田石原産業海運 武庫川研究所(西宮三一七八)	工學士	"	松 長 繁 次君	〃〃〃〃
小倉市赤坂五九	九州電氣軌道會社化學工業課	"	國 枝 繁 君	〃〃〃〃
山口縣都濃郡太華村櫛ヶ濱	徳山鐵板株式會社	"	増 原 節 之 助君	〃〃〃〃
小石川區竹早町七八(小石川二六五)	工學士 旭硝子株式會社企畫課長	"	采 野 善 治 郎君	〃〃〃〃
澁谷區代々木富ヶ谷町一四七〇 (澁谷四八四)	理學博士 商工省地質調査所長	"	山 根 新 一君	〃〃〃〃
大森區山王二ノ一八七八 (大森一八〇一, 三一〇一)	日本高壓容器工業組合	"	澤 田 榮 治君	〃〃〃〃
城東區大島町大島製鋼所	工學士	"	高 木 清 一君	〃〃〃〃
西宮市今津浦風一ノ一五猶興寮	住友金屬工業會社製鋼所	准會員	橋 山 利 男君	山 本 信 公 郎
大阪市此花區島屋町汽車製造會社 大阪支店	工學士	"	長 谷 川 勘 一 郎君	村 松 橋 太 郎
"		"	遠 藤 謙 五君	"
"		"	檀 百 太 郎君	"
"		"	高 見 英 一君	"
室蘭市茶津町四 茶津分寮	日本製鋼所室蘭製作所改良課	"	中 村 文 一君	小 林 佐 三 郎
室蘭市茶津町御前水町社宅四三七	"	"	三 田 村 勇 吉君	甲 藤 新 公
大阪市住吉區阿倍野筋一ノ九五	工學士 住友金屬工業會社製鋼所	"	瀧 本 石 郎君	山 本 信 公
大阪市此花區島屋町 住友金屬工業株式會社製鋼所		"	荒 川 健 次君	"
鞍山市南四條町四五	滿洲ロール製作所	"	大 谷 孝 吉君	大 谷 米 太 郎
神戸市灘區高羽老松三〇	工學士 川崎航空機工業會社検査課	"	高 野 武 雄君	渡 利 彦 四 郎
鞍山市北四條町鈴鹿寮	昭和製鋼所製鋼部	"	莊 司 留 雄君	數 納 勳 郎
深川區越中島町八ノ三七森誠吾方	石川島造船所鑄造工場	"	瀧 勇 君	諏 訪 常 次 郎
橫濱市保土ヶ區上星川町一三二	東洋電機製造會社製鋼課	"	矢 浪 準 次 郎君	山 縣 友 雄
杉並區宿町八八中島飛行機株式會社東京製作所		"	新 井 正 二君	寺 島 元 三 郎
神戸市灘區天城通八ノ三ノ五八	神戸製鋼所特殊鋼工場	"	坂 本 邦 松君	川 上 義 弘

大阪市住吉區墨江中三ノ一〇ノ一	工學士 藤永田造船所 造機部	美馬源次郎君	藤井寬
橫須賀市汐入町一六七	橫須賀海軍工廠造機部	中坂禮吉君	石川薰
橫須賀海軍工廠造機部	工學士 造機大尉	高橋富士雄君	安田勇吉
八幡市槻田松尾町三丁目	工學士 日鐵八幡製鐵 所製銑部第二製銑課	上島熊雄君	林達夫
名古屋市熱田區東熱田 大同製鋼會社熱田工場		田中鉦一君	村松橋太郎
朝鮮咸鏡北道城津邑 日本高周波重工業會社城津工場製鋼課		米井春雄君	鹽澤正一
大阪市東淀川區宮原町 日本アルミニウム製造所製鋸工場	理研壓延工業會社	大橋三男君	澤村宏
牛込區矢來町一五二	京大、工、治在學	寺澤稻雄君	村松橋太郎
大阪市東淀川區三國町九四〇		上田滿正君	濱田文藏
橫須賀海軍工廠造機部工作研究實驗室		大谷孫四郎君	村松橋太郎
米子市久米町一八二 日曹製鋼會社米子製鋼所	廣海軍工廠航空機部	永東忠壽君	石原善雄
吳市阿賀町原八 梶山方		澤本豐君	吉川晴十
大森區大森一丁目日本特殊鋼株式會社	東大、工、治在學	宮下光正君	竹內保資
中野區上町一七石津方	大同製鋼株式會社星崎 工場建設課	大澤清作君	谷村熙
愛知縣平田市字荒古一〇二	九大、工、在學	澤田次夫君	中村一郎
福岡市外雜飼隈野一四七	日産自動車研究部資料 課	海江田弘也君	絹川武良司
橫濱市中區門間一ノ九	壽重工業會社大津工場 製銑課	樋山慎治君	內野久雄
尼崎市東向島西之町 住友金屬工業鋼管製造所		大森仁平君	原田蕃
大阪府泉北郡大津町八四九泉屋旅館	東北大、在學	人見力君	的場幸雄
宇部市日立製作所宇部分工場	撫順炭礦製鐵試驗工場 大連分場	今田謙次郎君	名黒和孝
仙臺市土樋一五二池田方		山中直道君	嘉村平八
大連市葛町望洋寮	京大、工、在學	上田敏君	澤村宏
兵庫縣武庫郡大庄村尼崎製鋼所		田島健次郎君	前田六郎
京都市左京區北白川平井町 明治アパート内		永田正男君	上田太郎
川口市大字横會根三一四七	特殊製鋼株式會社	福田靜一郎君	武田龜藏
大阪市西區江子島上ノ町 大阪府工業獎勵館金屬部		朱雀豐君	
大森區大森三ノ三三七		高橋浪治君	

准會員より正會員に轉格者

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 渡邊 政人君 | 穂坂徳四郎君 | 横山 均次君 | 中山 幸二君 | 前田 良雄君 | 中村 榮一君 | 西島 倫吾君 |
| 前田 國孝君 | 金子 吉雄君 | 池添豊一郎君 | 神谷 基夫君 | 曾我部光晴君 | 矢島 忠和君 | 沖本 希三君 |
| 中村 正勝君 | 加藤 武君 | 高田 智彦君 | 堀江 吉光君 | 及川 象平君 | | |

死 亡 者

正會員 中山 高 亮君(1月16日) 田島 勝太郎君(1月28日) 伊賀 存和君(1月28日)
小堀 春樹君(不詳) 以上四氏の訃に接したるは洵に痛惜に堪えず茲に謹んで弔意を表す

日本鐵鋼協會野田文庫購入圖書 (昭和14年1月分)

Authors	Titles.	beständiger Stähle.	1935
American Society for Testing Matrials.	Symposium on Steel Castings.	Lief. 2. K.Kiwit.-Über den Einfluss von Sonderzusätzen auf das Zündern des Stahles.	1935
Becker, K.	Hochschmelzende Hartstoffe und ihre technische Anwendung.	Lief. 4. A. Ristow.-Über die Wirkung des Phosphors auf die Eigenschaften von basischem, unlegiertem Stahl.	1935
Bullens, D. K.	Steel and its Heat Treatment. 4th Ed. Vol. I. Principles, Processes, Control.	Lief. 5. E. K. Offermann.-Über die Herstellung und die Eigenschaften von Stahl aus Carbonylleisen.	1936
Hase, H.	Die Allgemeinen Geschäftsbedingungen Metall- und Maschinenindustrie.	Lief. 6. W. Lückerath.-Über die Verbesserung von Stahlschienen durch Umgestaltung des Primärgefüges im Schienenfuss beim Walzen.	1936
Jürgensmeyer, W.	Die Wälzlager.	Lief. 7. Th. Lütgen.-Einfluss der Thomas-birnen-Form auf die Betriebsverhältnisse.	1937
Seuthe, A.	Über die Entkohlung von Kohlenstoffstählen in Salzbadern.	Lief. 8. H. Scholz. Die Bestimmung kleinster Längsänderungen beim Zugversuch, insbesondere beim Dauerstandversuch.	1937
Vilella, J. R.	Mitteilungen aus dem Forschungs-Institut Vereinigte Stahlwerke Aktiengesellschaft Dortmund. Bd. 2. Lief.4.	Lief. 9. W. Lamarche.-Über den Einfluss der Verformungsart auf Alterung und Rekristallisation.	1937
Mineral Industry during 1937.	Vol. 46.	Lief. 10. A. Hildebrand. Über die Korrosion von Stahl bei kathodischer Polarisation.	1937
Mitteilungen der Kohle- und Eisenforschung G.m.b.H. Bd. I.	Lief. I. K.Dreves.-Die Weiterentwicklung Witterungs-		